

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	上野原市欄原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	上野原市		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中で、集団宿泊生活を通して自律、責任、協力、友愛、奉仕等の尊さを体験的に学習させ、ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年を育成すること。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約33,000㎡ ○延床面積 約 2,016㎡ ○施設の内容 《本館棟》(847.133㎡) ・ラウンジ・食堂・多目的ホール・事務室 《一般宿泊棟》(491.400㎡) ・3棟[寝室4室、広間、リーダー室、トイレ、洗面所、定員26人/1棟] 《家族・身障者棟》(414.993㎡) ・家族宿泊室:4室[4人用] ・身障者宿泊室 ・リーダー室 ・浴室 ・身障者用浴室 《その他》 ・屋外炊事場棟(43㎡):調理台×4、流し×8、かまど×6 ・キャビン棟:ミーティングルーム ・キャンプ場:キャンプ場トイレ		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)地域における生活文化の経験学習に関する業務 (5)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (6)野外活動及びレクリエーションに関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	上野原市立地域交流館 山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	宿泊利用者数	8,597	7,165	7,917	8,000
	キャンプ場利用者数	1,111	1,410	853	1,000
	日帰り利用者数	1,863	1,555	2,899	3,000
	利用者数合計	11,571	10,130	11,669	12,000
	目標値	12,240	12,000	12,000	12,000
	目標値設定の考え方及びその理由	施設規模や季節による利用動向の変化から年間利用者数については 12,000人を適正な目標数と考え、設定。 (平成28年度に達成できなかったため同じ目標値とした。)			
対28年度比		87.5%	100.8%	103.7%	
利用率	57.0%	58.6%	38.8%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
	指定管理者委託料	33,154,000	33,258,000	33,258,000	33,439,000
	その他				
収入合計(A)		33,154,000	33,258,000	33,258,000	33,439,000
支出	人件費	18,139,452	16,909,000	19,287,175	16,956,000
	県への納付金				
	管理運営費	15,631,985	10,065,000	17,749,764	10,379,000
	うち外部委託費(B)	5,495,381	6,284,000	6,283,781	6,104,000
支出合計(C)		33,771,437	33,258,000	37,036,939	33,439,000
収支差額(A-C)		△ 617,437		△ 3,778,939	
外部委託比率(B÷C)		16.3%	18.9%	17.0%	18.3%
利用者一人当たりの経費		3,272.9	2,771.5	2,850.1	2,786.6

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～平成31年3月 実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート 回答数:51団体
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設までのアクセス	58.5%	27.0%	12.5%	2.0%
申込方法	75.0%	18.9%	4.1%	2.0%
利用料金	85.5%	10.4%		4.1%
活動プログラム	82.7%	13.0%		4.3%
貸出道具	84.7%	10.8%		4.5%
宿泊室	80.6%	14.6%		4.8%
トイレ、浴室、洗面所	78.7%	16.6%		4.7%
施設設備	78.7%	16.6%		4.7%
施設全般	86.9%	13.1%		
食事内容、料金等食堂	63.6%	27.2%	9.2%	
施設全般の満足度	77.5%	16.8%	2.6%	3.1%

利用者の意見	<p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した林間学校になりました。 ・要望に対する柔軟な対応をして下さり、感謝しています。 ・親切に対応してくださりありがとうございました。 ・子ども達が充実した活動をする事ができました。 ・暑い時期なので短い間でもシャワーを使わせていただいて有り難い。 ・常識の範囲内でお酒の持ち込みを可能にしてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時間を利用者の希望に添える範囲で対応した。 ・お酒の持ち込みについては、青少年施設であることを説明し、ご理解いただいた。 ・利用の多い週末の前には、部屋の換気を心がけた。

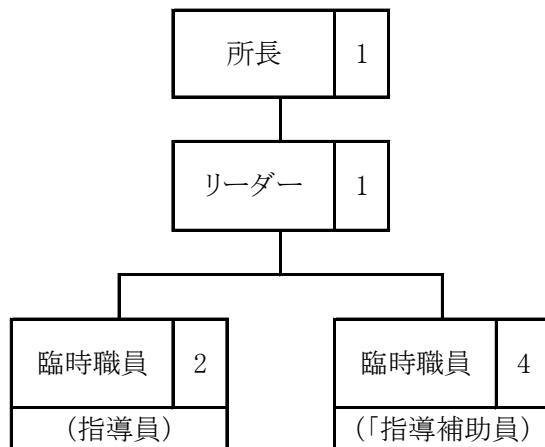
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法定点検やその他施設・設備の保守点検等をマニュアル通り適正に実施した。</p> <p>非常照明や汚水処理施設等、迅速に修繕を行った。</p>	<p>施設・設備の維持管理については、業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に執行されている。</p> <p>経年劣化による修繕が必要な箇所があるが、利用者の安全を第一に考え、迅速に対応することができた。今後も維持管理に努めるよう指導した。</p>
運営業務	<p>保育園、幼稚園、学校等と連携し、利用促進を図った。さらに高校生、大学生ボランティアとの協働により各主催事業を適正かつ円滑に実施した。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき適正に執行されている。アンケート結果からの利用者の声を生かし、臨機応変に対応しているため、今後も利便性の向上を図ること。</p>
利用状況	<p>県東部地域を中心に学校や関係機関にPRを行い、積極的に利用を呼びかけている。首都圏の隣接した立地環境もあり、県外利用者も多く、リピーター率も高い。県内利用者も増加傾向にある。</p> <p>予約方法について宿泊は1組のみから、人数に応じて複数組の予約を可能にした。</p>	<p>日帰り利用者や県内の利用者が増えたことが評価できる。自然環境を生かした事業が計画されていることがうかがえる。予約方法を工夫したことで、利用者増につながった。今後も新規利用者の開拓に努めること。</p>
収支状況	<p>山梨県からの委託金だけでなく、上野原市の繰入金に合わせて、効率的な財政運営に努めている。</p>	<p>冬の燃料を押さえる努力が見られており、環境マネジメントシステムも適正に行われている。寒さについては、利用者へのサービス低下にならないこと。</p>
自主事業	<p>自主事業については、定着しており一定の参加者がある。閑散期(秋・冬)の事業についても参加者が延80名を超え、利用者に好評であった。</p>	<p>閑散期である秋・冬の自主事業に多くの参加があり、魅力的な内容であることがうかがえる。自然環境を生かした自主事業を今後も計画するよう努めること。</p>
利用者満足度	<p>施設全般の満足度で、94.3%の利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との高い評価をいただいた。</p> <p>食事内容・料金等食堂についてはH29年度よりも「満足」の評価は6%上がったが、9.2%の方が「やや不満」とあるので、アンケートを通して利用者の要望を集めていくよう努めていく。</p>	<p>H29に比べ、利用者の満足度が高く、職員のきめ細かな対応が高評価につながっている。宿泊者の人数にあわせて、宿直者の人数を2人から3人へと変更するなど、対応ができています。食堂対応については、満足度を高める努力が求められる。指定管理者としても意見を伝えるよう努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。</p> <p>県の指示のもと緊急又は簡易な修繕工事を19件施工した。</p> <p>平成30年度、利用者数の目標値は、12,000人、実績は11,669人。前年度に比べ、1,539人増加した。目標値には達しなかったものの、約15%の増加となった。</p> <p>宿泊開所日数を増加したことで、利用者の増加につながった。指導員のきめ細やかな対応等、参加者の満足度も高い。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、概ね適正に執行されている。</p> <p>日帰り利用者が大幅に増加し、目標値に近づいていることが評価できる。桐原の自然を生かした、プログラム内容の充実さから利用者の興味関心が高まっていることがうかがえる。また、宿泊開所日数の増加に伴い、県内利用者も増加していることから、今後とも県内の利用者拡大を目指すよう求めた。現在利用していない県内の小中学校へのPR活動にも取り組むことが望ましい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、引き続き適正に行っていく。</p> <p>引き続き、県内利用者の増加を目指し、主催事業の創意工夫を図っていく。県内小中学校へのPR活動については、富士東部地域の学校には各学校を訪問し、案内を紹介している。それ以外の地域には山梨県の広報を活用して、主催事業の紹介に努めた。</p> <p>また、宿泊者の安全管理に努め、利用しやすい環境作りに努めた。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在



所長	1 人
リーダー	1 人
臨時職員(指導員)	2 人
臨時職員(指導員補助)	4 人
合計	8 人